

保 育 課 程

園長	主任保育士	担任

6か月～1歳3か月未満

上庄保育園

			6か月～9か月未満	9か月～12か月未満	12か月～1歳3か月未満
発達過程	健康・人間関係・環境・言葉・表現	食事・生活	・離乳食に慣れ、食べることを喜び、食物に手を出すようになる。 ・離乳食を喜んで、モグモグゴックンが出来る。 ・スプーンを持ちながら、手づかみで、食べようとする。	・食べ物の種類や量が増え、味にも慣れて、何でも食べる。 ・自分でコップを持って、飲もうとしたり、スプーンを使って食べようとする。 ・離乳食の時、ストローを使ったり、コップで飲もうとする。	・意欲的に食べ、スプーンを使おうとするけれど、うまく食べられずに手づかみで食べたりする。 ・硬い物、大きい物でも、そのまま口に入れようとする。 ・手伝ってもらいながら、コップで飲む。 ・嫌がらずにおむつ交換をしてもらったり、オマルやトイレに座る。
		運動・手指	・腹這いの後ずさりから、前進、高這いが始まる。 ・首、手足がしっかりして、お座りが安定する。 ・片手に1つ持っても、反対の手にもう1つ渡すと両手に握るなどの手の動きが活発になる。	・硬い物も、よく食べれるようになり、かんで食べる。 ・つかまり立ちからつたい歩きが盛んになる。 ・歩き始める子どももいる。 ・小さい物を指でつまむようになる。	・つたい歩き、一人歩きが出来るようになり、嬉しそうにするようになる。 ・歩行が安定し、行動範囲が広がる。
		人との関わり	・寝返りが自在になり、おなかを軸にして、左右に回転したり、這い這いも見られるようになる。 ・親指と人差し指で、小さい物をつまめるようになる。 ・抱っこをせがんだり、人見知りがみられることもある。	・簡単な言葉を理解する。 ・自分の名前を呼ばれると、その方向を見たり声を出したりする。 ・歌や手遊びを喜び、真似をしたり、声を出して喜ぶ。 ・絵本や食べ物など身近な物の名前を片言で言う。	・保育者の声かけに合わせて、手足を動かして着脱しようとする。 ・して欲しい事を身ぶりや言葉で表現する。
		言葉・表現	・「マンマ」「プープー」など反復的な喃語を発する。 ・保育者の言葉かけを聞いて、「バイバイ」「ありがとう」「いただきます」等の真似をしようとする。	・指差しが出来るようになり、思いを伝えようとする。 ・自分の思いが通じないと、泣いたり、怒ったりする。 ・感情表現が複雑になる。一語文を話す。 ・友達との物の取り合いから、かみつきがみられることもある。	・二語文を話す。(マンマ、ワンワン等) ・音楽や歌を聞くとリズムに合わせて体を動かす。 ・絵本、紙芝居の読み聞かせを喜ぶ。
		健康・人間関係・環境・言葉・表現	・普通食への移行を図りながら、様々な食品に慣れさせ、噛む等、食事の意欲を育ててゆく。 ・探索活動をのびのびと楽しみ、一人遊びを充実させる。	・一人一人の状態に応じて、元気に戸外遊びを楽しむ。 ・指差しや片言で、自分の思いを伝えようとする子どもの気持ちに言葉を添えて応じていき、自己表現の喜びを膨らませていく。	・スプーンを使って食べようとする。 ・全身運動を十分楽しみ、一人立ち、歩行完成へと向かう。 ・簡単な言葉を通して、保育者とのやりとりを楽しむ。
教育内容	健康・人間関係・環境・言葉・表現	食事・生活	・離乳食を食べる。 ・睡眠が、午前と午後の2回となる。	・生活のリズムが段々と出てくる。 ・保育園での睡眠が、午後1時に定まってくる。	・スプーンを持つけれど、手づかみで食べる。 ・身体の一部を優しくタッチしてもらったりしながら安心して、眠る。
		運動	・手足を盛んに動かかし、寝返りがうてるようになる。 ・様々な生活遊びを通して、自由な活動を十分行い、体を動かすことを楽しむ。	・這い這いや一人立ちが出来るようになる。 ・様々な生活遊びを通して、自由な活動を十分行い、体を動かすことを楽しむ。	・歩きや小走りで行動するようになるので、バランスを崩して躓いたり、転んだりする。 ・様々な生活遊びを通して、自由な活動を十分行い、体を動かすことを楽しむ。
		感覚・探索・人との関わり	・玩具や身近にある物を叩いたり、握ったり、持ったりして遊ぶ。	・身近な音楽に親しんだり、身体の動きを楽しんだりする。	・身近な音楽に親しんだり、身体の動きを楽しんだりする。
		言葉・表現	・「あーうー」等、喃語を発する。 ・人見知りをするが、親密な保護者には、喜んで関わりを持とうとする。	・他の子どもの持っている玩具に触る。 ・絵本、玩具等に興味を持ち、それを使った遊びを楽しむ 子供同士の関心を持つ。	・絵本、玩具等に興味を持ち、それを使って、遊びを楽しみ、子ども同士の関心を持つ。
		言葉・表現	・語りかけられると、微笑み返し、声を出して喜ぶ。 ・大人の声を聞いたり、口元を見て、一緒に口を動かす。 ・音の出るものを喜ぶ。	・簡単な言葉の意味がわかるようになる。 ・周囲の人や物に興味を持つ。	・一語文を話す。(マンマ、ワンワン等) ・興味を持った物の素材に触れて、感触を楽しむ。

保 育 課 程

園長	主任 保育士	担任

1歳3か月～3歳未満

上庄保育園

		1歳3か月～2歳未満	2歳～3歳未満
発達過程	健康・生活	・食事の前には、手洗いをする。 ・食前、食後の挨拶がわかる。 ・スプーンやフォークを使って食べる。 ・苦手な物も少しずつ食べようとする。 ・こぼしながら、自分でフォークやスプーンを使って食べる。 ・配膳が終わるまで待てる。 ・好きな食べ物が増え、よくかんで食べようとする。 ・タイミングが合うと排泄ができる。	・一口の量がわからずに、こぼす事があるが、スプーンを使って最後まで食べる。 ・色々な食べ物を進んで食べる。 ・食事に必要な準備と片付けの基本的習慣や態度に関心を持つ。 ・食器に手を添えて食べる。 ・スプーンやフォークを上手に使う。 ・トイレットトレーニングが完了し、排泄の有無を伝えることができる。
	人間関係・手指	・服を着る時、自分から袖を通したり、パンツに足を入れようとする。パンツの上げ下げをしようとする。 ・指先を使った遊びをする。靴を自分ではこうとする。 ・衣服で足や腕を通す箇所がわかり、自分でしようとする。 ・段差や傾向のある所を好み、上がったたり下がったりすることをくり返す。 ・保育者と一緒に散歩に出かけたり、園庭の探索を楽しむ。	・衣服の着脱に関心を示し、一人で脱いだり着たりする。 ・食事の準備や片付けをする。 ・シールやマーカーを使用して、簡単な製作をする。 ・Tシャツ、トレーナーを一人で着脱する。 ・基本的な運動(歩く、走る、跳ぶ、よじ登る、くぐる)を楽しむ。
	人との関わり	・感情の表現が複雑になる。 ・他児と物の取り合いになり、かみつが見られることがある。 ・一人遊びがみられる。 ・保育者と一緒に絵本を見て、繰り返しの言葉や知ってる物の名前を言う。 ・促されて布団に入り午睡をする。 ・色々な場所で手をつないだり、並んだりする。 ・笛等の合図を知る。 ・自分でエプロンを身に付ける。 ・自分で帽子をかぶる。 ・使った玩具を片付ける。	・保育者が「ゴミ箱に入れて」「これを片付けて」と言うと、理解し、手伝うことができる。 ・自分から布団に入り、見守られていることに気付くと、一人で眠ろうとする。 ・友だちとのかかわりの中で、相手の世話をしあうことを喜ぶ。 ・保育者や友達と一緒に絵本を見ながら、簡単な言葉の繰り返しや模倣遊びをする。
	言葉・表現	・二語文を話す。 ・歌や手遊びを保育者と一緒に楽しむ。 ・したい事、して欲しい事を言葉や仕草で伝える。 ・色々な挨拶を身ぶりや言葉で伝える。 ・話しかけを喜んだり、自分から言葉を発する。 ・リズムに合わせて体を動かす。 ・保育者と一緒に歌ったり、手遊びをする。	・生活に必要な言葉を聞き分け、色々な出来事に関心を示す。 ・歌を歌ったり、リズムに合わせて身体を動かすことを楽しむ。 ・「つまむ」「丸める」「めくる」「なぐり描きをする」等、指先を使った遊びをする。 ・「かして」「あそぼう」など、気持ちを言葉で表現する。 ・二語文を話すようになる。 ・保育者と一緒に簡単なごっこ遊びをする。
	ねらい	・よく噛んで食べる。 ・自分の興味のある玩具で遊ぶ。 ・指先を使う玩具で遊ぶ。 ・苦手な物でも少しずつ食べる。 ・スプーンを使って食事をする。 ・ズボンやパンツをひとりで、はく、又ははこうとする。 ・言葉のやりとりをする、又はしようとする。	・手伝ってもらいながら、身のまわりのことをしようとする。 ・身のまわりのことを一人できるようになる。 ・自分の気持ちを伝える為に簡単な言葉のやりとりをする。 ・色々な行事や遊びを通して人との関わりを楽しむ。 ・ごっこ遊びやルールのある遊びを友達と一緒にする楽しさを知る。
教育内容	健康・生活	・スプーン、フォークを使って、時間がかかっても一人で食べる、又は食べようとする。 ・様々な食べ物に慣れ、幼児食へと移行してゆく。 ・安心して保育者のそばで一定時間ぐっすりと眠れるようになる。 ・活動時間が長くなり、質のよい眠りが得られるようになる。	・よく噛んで食べる。 ・おやつや食事の前に手洗い消毒をする。 ・声かけや様々な働きかけを保育者がすることにより、色々な食べ物を食べるようになる。 ・活動が活発になり、一定時間、ぐっすりと眠るようになる。 ・手洗いをする。
	人間関係・運動	・取り合いなどから、ケンカ、かみつ、ひっかきなどが起こる。 ・リズムに合わせて、身体を動かす。	・「歩く」「登る」「またぐ」など、全身を使った遊びや手や指先を使う遊びを楽しむ。 ・リズムに合わせて、自由に身体を動かす。
	感覚・探索	・積木やブロックを合わせたり、積み上げ、倒したりして遊ぶ。 ・ひも通しをする。 ・ラッパを吹いて遊ぶ。 ・物に触れたり、しっかり握ったりする。 ・紙をちぎって遊ぶ。	・ひも通しをする。 ・パズル遊びをする。 ・砂遊びを楽しむ。 ・積木やブロックを積み上げたり、周りを囲ったりして遊ぶ。
	人との関わり	・好きな玩具に関心を持ち、保育者や友だちと関わって遊ぶ。 ・ゆったりとした雰囲気の中で、友だちと一緒に食べる。 ・他児の仕草を見ながら模倣することを楽しむ。	・好きな玩具で、友達や保育者と楽しく会話をしながら遊ぶ。 ・ごっこ遊びを通して、少しずつ友達存在に気付き、関わって遊ぶ。 ・自己主張が強くなり、ぶつかり合いが増える。
	言葉・表現	・興味のある絵本や紙芝居を読んでもらったり、言葉の繰り返しや模倣を楽しむ。 ・一人で絵本を見ることを楽しむ。 ・音楽に合わせて、自由に体を動かす。 ・手遊びをする。	・友達との遊びの中で、言葉のやりとりや気持ちを表現する楽しさを味わう。 ・絵本の内容を理解し、イメージを持って楽しく見る。

保 育 課 程

園長	主任保育士	担任

2歳～3歳

精神発達過程		・歩く、走る、跳ぶ等の基本的な運動機能や指先の機能が発達し、食事や衣類の着脱など、身の回りの事を自分でしようとする。また、排泄の自立の為の身体的機能も整ってくる。 ・発声が明瞭になり言葉も増え、自分の意思や欲求を言葉で表現できるようになる。 ・自我の育ちの表れとして、強く自己主張する姿が見られる。 ・盛んに模倣し、物事の共通性が見いだせるようになる事で、大人と一緒に簡単なごっこあそびを楽しむようになる。			
発達過程	健康・人間関係・環境・言葉・表現	生活・運動	・食べこぼしはありながらも、スプーンやフォークを持ち、ほとんど自分で食べる。 ・身の回りの事を自分でやろうとする意欲が高まる。 ・簡単な衣服は、自分で着脱できるようになる。 ・排泄も少しずつトイレへ移行し、成頂や失敗を繰り返して、リズムが整ってくる。 ・歩く、走る、跳ぶ、ボールを蹴る、投げる等基本的な運動能力が伸び、身体を使ったあそびを繰り返し行う。		
		人との関わり	・象徴機能が次第に高まり、模倣も活発になり、簡単なごっこあそびがたのしめるようになってくる。 ・お友達と関わる場面が多くなり、一緒にあそぶ中で、自分の思い通りにならない事がある事を体験していく。 ・保育士やお友だちの話す事に、耳を傾ける事ができるようになってくる。		
		感覚・探索	・指先の機能が発達し紙をちぎったり貼ったりなぐり描きをしたり等あそびが広がり、探索意欲が増して、自分のしたい事に集中ようになる。		
		言葉・表現	・自分のしたいこと、して欲しい事を言葉で表現するようになってくる。これより、自我が育っていく。 ・発声、構音機能が急速に発達して、発声は、より明瞭になり、語いも増加して日常生活に必要な言葉が分かる。 ・身体運動のコントロールもうまくなるので、リズムカルな運動や音楽に合わせて体を動かす事を好むようになる。		
ねらい／心情・意欲・態度／	健康・人間関係・環境・言葉・表現	生活・運動	・食事、排泄、着脱などの簡単な身の回りの事を自分でしようとする。 ・様々な運動や用具を使って、身体を動かす楽しさを感じる。		
		人との関わり	・保育士と一緒に人や動物の模倣をしたり、経験した事を思い浮かべ、ごっこあそびを楽しむ。 ・少しずつ友だちと関わって遊ぶ楽しさを味わう。 ・保育士の指示を合図を聞いて行動する。		
		感覚・探索	・保育士と一緒に手や指を使ったあそびを楽しむ。 ・身の回りの物や親しみの持てる小動物や植物を見たり触れたり、保育士から話を聞いたりして、興味や関心を広げる。		
		言葉・表現	・保育士を仲立ちとして、生活やあそびのな中で、言葉のやり取りを楽しむ。また、日常に必要な言葉を覚えていく。 ・色々な曲に合わせて身体を動かしたり、道具を使って表現する楽しさを味わう。		
教育内容	健康・人間関係・環境・言葉・表現	生活・運動	・スプーンやフォークを正しく持ち、箸の使い方を覚える ・保育士に促されながらトイレで排尿、排便する事に少しずつ慣れ、オムツからパンツに移行する。 ・衣服の着脱を自分で行い、たたんで片付ける事ができるようになる。 ・室内や戸外で色々な道具や遊具を使って思いっきり身体を動かす。		
		人との関わり	・保育士に様々な欲求を受けとめてもらい、親しみをもち、安心感を持って生活する。 ・生活に必要な挨拶をする。 ・順番や約束事が分かり待とうとする。 ・友だちと一緒に色々なあそびをする。（ごっこあそび）又ぶつかり合いの中で相手にも感情がある事を知り、自分の思いを言葉で伝えるようとする。 ・保育士の指示や合図を聞いて行動ができるうになり、簡単な集団あそびを楽しむ。		
		感覚・探索	・一年を通して戸外に出かけ、見たり触れたり、聞いたりして全身で自然を感じる。 ・遊具を使って色々な形を作ったり組み立てたり、通したり、手触りを楽しんだりと指先を使ったあそびをする。 ・天候の種類を知り、毎日の様子に気付く。		
		言葉・表現	・絵本や紙芝居を見る事を楽しむ。 ・お友だちや保育士と一緒に楽しく、歌を歌ったり、指あそびをする。 ・保育士を模倣しながら、音楽に合わせて身体を動かす。 ・絵を描いたり、テーマに沿って保育士と一緒に造形を楽しむ。		

保 育 課 程

園長	主任保育士	担任

3歳～4歳

精神 発達 過程		・自分で何でもやってみたいという気持ちと甘えたいという気持ちの葛藤を経て自分をコントロールする事を身につけ、自我を形成していく。 ・保育士や大人に認めて欲しいという行動が現れる。 ・年上の友達に憧れを抱き、自分も挑戦しようとする気持ちが強くなり好奇心も旺盛になる。
	健康	・嫌いなものでも励ませば、自分から食べるようになる。 ・排便の後は介助が必要である。 ・園生活の流れが分かり、保育士の助けを借りながら自分なりに身の周りの事が出来るようになる。 ・歩く、走る、飛ぶ、押す、引っ張る、投げる、転がる、ぶら下がる、またぐ、蹴るなどの基本的運動能力が身につく、全身を使った遊びを好むようになる。
	人間 関係	・身の周りの大人の行動や日常経験している事などを取り入れたりして、ごっこ遊びの中に再現できるようになる。 ・少しならば我慢もできるし、大人との約束が守れるようになる。進んで保育士の手伝いを行ったり、人の役に立つことに誇りや喜びを抱くようになる。 ・友達への思いやりが芽生え始める。
	発達 過程 環境	・何でも知ろうとする意識が強く、「これなあに?」「どうして?」と用途や存在の意味を質問するようになる。 ・四季おりおりの自然に親しみ、興味を持ってみたり、触ったりするようになる。 ・身の周りの色、数、量、形などに興味を持ち違いに気付くようになる。
	言葉	・大きい、小さい、強い、弱い、という対立関係の概念が出来るようになり、数は3つぐらいまでは理解できるようになる。 ・「ぼく」「わたし」の一人称や「あなた」「きみ」の二人称が使えるようになる。 ・簡単な役割分担ができるので絵本を遊びに展開すると話を好むようになる。
ねらい／ 心情・意欲・ 態度	表現	・丸や顔が描けるようになり、次第に頭、足、手、髪の毛や胴を描くことができるようになる。後半には、人物だけでなく家なども描くようになる。 ・簡単な歌のリズム通りに手拍子を打ったり、体を動かしながら歌うことができる。
	健康	・外遊びを十分にするなど、遊びの中で身体を動かすことを楽しむ。 ・生活に必要な基本的な生活習慣を身につける。 ・自分から外に出て十分に体を動かしたり、様々な運動や用具を使った運動を楽しむ。
	人間 関係	・友達とごっこ遊びなどのなかで集団での遊びを楽しむ。 ・すすんで身近な人を関わり、友達と遊ぶ。 ・遊具や用具などを貸したり、借りたり、順番が分かり、簡単な生活の決まりを守る。
	環境	・身近な生き物や自然事象をよく見たり、触れたりして驚き、親しみを持つ。 ・生活の中の物事、自然、環境に関心を持ち、並べたり、分類して遊ぶ。 ・様々なものを見たり、触れたりして、面白さ、美しさなどに気付き、豊かな感性を持つ。
	言葉	・自分の思った事や感じた事を自分から言葉に表し、保育士や友達と言葉のやり取りをする。 ・絵本や童話など簡単な内容が分かり、イメージをもって楽しんで聞く。
教育 内容	表現	・友達と一緒に描いたり作ったりすることを楽しむ。 ・感じた事や思った事を描いたり、歌ったり、体を動かしたりして自由に表現する。
	健康	・正しい食事の仕方やマナーを知る。 ・水遊びを楽しみながら水に顔をつける。 ・外で十分に体を動かしたり、様々な遊具や用具などを使った遊びを楽しむ。
	人間 関係	・保育士に様々な欲求を受け止めてもらい、親しみを持って生活する。 ・集団生活の中で約束を守って過ごし、共同の遊具や用具を順番を守って使う。 ・散歩に出かけ、地域の人々と触れ合うことを喜ぶ。 ・園の行事に親子で参加し、喜んだり、楽しんだりする。
	環境	・一年を通して戸外へ出かけ、見たり、触れたり、聞いたり全身で自然を感じる。 ・身近な生き物や自然事象をよく見たり、触れたりして、親しみや愛情を持つ。 ・危険な物や場所を学び、安全に遊ぶ。 ・防災、防犯訓練など保育士の支持が分かり、行動する
	言葉	・「ごめんなさい」「ありがとう」など場面に応じて自分で言う。 ・日常生活に必要な挨拶をしたり、友達の会話を楽しむ。 ・絵本や紙芝居を読んでもらい、場面を想像して楽しむ。 ・自分の思った事や感じた事を言葉に表し、保育士や友達と言葉のやり取りを楽しむ。
	表現	・様々な用具や遊具を使って描いたり、作ったりして楽しむ。 ・友達と一緒に楽しく歌ったり、動物や乗り物などの動きを真似したり、音楽に合わせて表現することで楽しむ。

保 育 課 程

園長	主任保育士	担任

4 歳 ～ 5 歳

発達過程	精神発達過程	・大脳生理学からいえば、4歳からやる気がおこるので、その芽をつぶさないように伸ばしてやる必要がある。 ・本当に自分が欲しいという所有欲が生まれてくる、2・3歳までの奪い合いは所有欲というより、自分もそれを持ちたいという模倣にすぎないと言われている。 ・自分というものを認め自分を主張したり、負けん気を起こすようになる。そして、悔しいという事を、表情や口に出すようになる。 ・5歳に近づくとつれて、ねたみ・そねみといった感情も芽生える。
	健康	・食事中に自分からマナーを守って食べようとする気持ちが育ってくる。 ・手先が器用になるので、裏返った服を表になおしたり、袖を合わせたり、折りたたむことに興味を持つようになる。 ・全身のバランスをとる能力が発達し、体の部分がかなり自分の意のままに使えるようになり、体の動きが巧みになる。
	人間関係	・相手の気持ちを考えながら、自分のする事を判断できるようになる。 ・仲間と居ることの喜びや楽しさが、お互いを感じられるようになり、仲間とのつながりは強まるが、それだけに競争心も起き、けんかも多くなる。 ・ルールを理解し、守って行動することが、できるようになる。
	環境	・自分の位置を基準にして、上下・遠近・左右・前後を理解することができる。 ・自分自身の体験によって、土や水をはじめとした、自然物や遊具などの自分を取り巻く様々なものの特性を知り、それらとの関わり方、遊び方を工夫することができる。 ・生活に結びついた時刻に興味を持つ。
	言葉	・友達との会話の中で、自分が話した言葉の間違いに気がついたり、友だちに指摘されることで言葉が発達する。 ・出来事や体験を接続詞を使って複文で話すことができる。 ・後半になると、自分の名前を読むことができる。
ねらい／心情・意欲・態度	表現	・自分の作ろうとするものや、描こうとするものをイメージとして、思い浮かべることができるようになる。 ・いろいろなリズムのパターンを真似することができる。 ・目的を立てて作ったり、描いたり、行動するようになる。
	健康	・明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。 ・自分の体を十分に動かし、すすんで運動しようとする。 ・健康・安全な生活に、必要な習慣や態度を身につける。
	人間関係	・保育所生活を楽しむ。自分の力で行動することの充実感を味わう。 ・すすんで身近な人と関わり、愛情や信頼感を持つ。 ・社会生活における、望ましい習慣や態度を身につける。
	環境	・身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で、様々な事象に興味や関心を持つ。 ・身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり、考えだしそれを生活に取り入れようとする。 ・身近な事物を見たり、考えたり、扱ったりする中で、物の性質や数量・文字などに対する感覚を豊かにする。
	言葉	・自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。 ・人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや、考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。 ・日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、保育士や友だちと心を通わせる。
教育内容	表現	・いろいろな物の美しさに対する豊かな感性を持つ。 ・感じたことや、考えたことを、自分なりに表現して楽しむ。 ・生活の中で、イメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。
	健康	・身近な遊具や用具を使い、十分に体を動かして遊ぶことを楽しむ。 ・遊具・用具を使い様々な動きを組み合わせ、積極的に遊ぶ。 ・自分でできる事に喜びを持ちながら、健康・安全などに必要な基本的な習慣を次第に身につける。
	人間関係	・保育士の言うことや、友だちの考えてることを理解する。 ・積極的に友だちとのつながりを広げ、集団で行動する。 ・集団でのでのきまりの大切さに気づき、守る。
	環境	・生活の中での出来事、社会環境や自然現象に感心を持ち、それらの面白さ・不思議さ・美しさなどに気づく。 ・生活の中での出来事、社会環境や自然現象に触れ、興味や関心を深め生活に取り入れる。 ・生活の中での出来事、社会環境や自然現象に興味を持ち、自分からかかわり身のまわりの事物や数・量・形などに関心を持つ。
	言葉	・見たことや聞いたことを話したり、疑問に思ったことを尋ねる。 ・人の話を聞いたり自分の経験したことや思っていることを話したり、自分から言葉で伝える。 ・絵本・童話・視聴覚教材などを見たり聞いたりして、イメージを広げ、友だちと言葉を交わして、心を通わせる。
	表現	・身近な事物などに関心を持ち、それらの面白さ・不思議さ・美しさ気づく。 ・感じたことや、思ったこと、想像したことなど、様々な方法で自由に表現する。 ・絵本・童話・視聴覚教材などを見たり聞いたりして、イメージを広げ、描いたり・作ったり・様々な表現をする。

保 育 課 程

5 歳～6 歳

園長

主任保育士

担任



発達課程	精神 発達 課程	・心身共に力が満ち溢れ、これまでの経験から自信や予想、見通しを立てる力が育ち意欲が旺盛になる。 ・遊びを発達させ、楽しむ為に自分達でまわりを作ったり変えたりする。また、自分達なりに考えて判断したり、批判する力が生まれ、異なる思いや考えを認めたりといった社会生活に必要な基本的な力を身につけていく。 ・思考力や認識力が高まり、自然事象、社会事象、文字等への関心が深まっていく。自立心が一層高まっていく。
	健康	・基本的な生活習慣が殆ど身につき、大人に指示されなくても一日の生活の流れを見通しながら、次にとるべき行動がわかり進んで行ようになる。 ・危険な場所や行為がわかるようになり、考えて安全に行動する。全身運動がスムーズにできるようになり、様々な運動に意欲的に挑戦する。 ・指先などの局所的な作業も、しっかりできるようになってくる。
	人間関係	・仲間意識を大切にするようになり、役割分担が生まれるような協同遊びやごっこ遊びを満足するまで取り組む。 ・自分なりに考えて納得のいく理由で物事の判断ができる思考力の基礎が培われる。 ・集団での活動の高まりと共に様々な葛藤を体験する一人一人の成長が集団の活動を活発なものに変化させ、その事により個々の成長が促される。
	環境	・動植物に対して愛情を示すようになり、観察する力が養われ細かい部分を見る事ができるようになる。自然事象に対して関心が深まり科学的な好奇心が強くなってくる。 ・遊びの中で簡単な足し算や引き算ができるようになる。月・日・曜日・時間が理解できるようになる。 ・生活の中の出来事、身近な環境に対して関わり、見たり扱ったりする中で、その性質・数・量・形への関心をもつようになる。
	言葉	・言葉を主体として遊んだり、更には共通のイメージを持って遊んだりすることもできる。 ・言葉の仕組みに気がつき、さかさ言葉やしりとりで遊ぶ。 ・様々な行事に参加し、その場で活発に活動したり、自分で考えた事、経験した事などを話したり聞いたりする。
ねらい／心情・意欲・態度	表現	・細かい手の動きが進み、自分のイメージしたように描いたり、作ったりする事を様々な方法で色んな材料や用具を工夫して使う。 ・曲の感じをつかみ、気持ちを込めて歌う。楽器の音色の特徴がわかり、合奏することができる。 ・6拍や8拍、休符など色んなリズムパターンが理解できて正確に模倣ができる。
	健康	・自分の目標に向かって努力し、達成したことを喜び、進級への自信を持つ。 ・食事・排泄・睡眠・着脱・清潔等の基本的な生活習慣が確立し、食生活等を通して自分の健康に関心を持つ。 ・明るくの伸び伸びと行動し充実感を味わう。
	人間関係	保育園生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。 ・様々な意欲や態度が培われていくことにより、身近な人との親しみ、関わりを深め、愛情や信頼感を持つ。 ・生活の中の出来事、社会環境や自然に関わり、社会生活における望ましい習慣や態度を身につける。
	環境	・生活の中の出来事、社会環境や自然環境に積極的に関わり、見たり扱ったりする中で、物の性質や数・量・形への関心を深める。 ・生活の中の出来事、社会環境や自然環境に自ら関わり、発見を楽しんだり考えたりしてそれを生活に取り入れ、経験を広げる。 ・生活の中の出来事、社会環境や自然環境に自ら関わり、科学的な見方、考え方を身につける。
	言葉	・自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。 ・人の話を聞き、自分の経験した事を話し、伝え合う喜びを味わう。 ・日常生活に必要な言葉が分かるようになってとともに、絵本や物語等に親しみ、文字に関心を深め、読んだり書いたりする事を楽しむ。
教育内容	表現	・喜怒哀楽の思いを統一ある言葉で伝え、身近な社会や自然事象への関心が深まり、様々な物の面白さ・不思議さ・美しさ等に感動する。 ・感じたこと・思ったこと・想像した事などを工夫して、目標を持って様々な方法で表現する。
	健康	・自分で食事のマナーを守って食べる。健康的な体つくりと食物の栄養素との関係について知る。 ・排泄や着脱・清潔等の身辺処理を自分でし、必要に応じて調節する。・全身を使った運動をして平衡感覚の獲得、更に体力と運動機能を身につける。 ・危険な場所や行為を理解し、自分で安全に行動する。
	人間関係	・集団生活の中で自分の気持ちや考えを安心して表すことができる等、情緒の安定した生活をする。 ・自分たちで決まりを作って活動や遊びを展開させる。身近な人との関わりで人の立場を理解して行動をする。・友達との関わりの中で善悪の判断をして行動する。共同の遊具や用具を大切にし、順番を守ったり譲り合ったりする。・異年齢の子供と関わりを深め、愛情を持ったり身近な人に感謝の気持ちを持つ。
	環境	・生活する中で必要な生活技術用具、器具を楽しみながら身に付ける。 ・一年を通じて自然に親しみ、美しさや偉大さを感じ、気温・天候・季節の変化に気づく。・数・量・形・時刻への理解を深め、遊びや生活の中で使う。 ・近隣の生活に関心を持ち、地域の人々が様々な営みをしていることに気づく。
	言葉	日常生活に必要な標識や身近な文字を見て意味を理解したり、自分で想像した事を周囲の人に言葉や文字で伝える。 ・質問・応答・伝言・報告が正確になる。 ・絵本を見たり、読んだりして内容を理解し、想像を膨らませる。
	表現	・様々な素材や用具を使って自分のイメージしたものを創造的に作ったり、描いたりする。 ・打楽器・旋律楽器で音の強弱や曲の速さなどの感じを掴んで合奏をする。